

令和2年度

事業計画書

特定非営利活動法人 日本教育再興連盟

1 事業実施の方針

15 年期目の活動として、現在継続している活動の質的向上及び対象者の量的向上の両面を行っていく。また規程の整備、法人全体としての方向性の策定等を推進していく。加えて認定 NPO 法人格取得に向けて寄付者の拡大を図る。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【6,100】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
教育活動を支援する事業。	1) 学校ボランティア 関東学生事務局のボランティア学生が東京周辺の公立小学校の先生方と提携し、教育現場で、小学生の学習支援や遊びを通じた交流を実施する。	随時	〈小学校〉 渋谷区立上原 文京区立汐見 文京区立明化 台東区立千束 台東区立東泉 板橋区立板橋第四 板橋区立蓮根 板橋区立常盤台 江戸川区立第六葛西 江戸川区立西葛西 江戸川区立平井 新宿区立戸塚第一 新宿区立平成 大田区立多摩川 大田区立調布大塚 〈中学校〉 足立区立六月 町田市立堺	約 30 名	小学生 中学生 教職員	多数	3,000
	2) 中高生向けの学習支援事業 ボランティア学生が東京都内の高校や中学校と提携し、生徒主体となうような授業を制作し、実施。キャリア教育、理科課題研究、現代文など自己理解から教科学習までを取り扱いながら学生で授業を運営する。 また、通年で提携校に入り、特定の教科において授業サポートも行う。	随時	私立佼成学園高等学校及び中等部 私立聖学院中学校・高等学校 KTC 中央高等学院京都キャンパス 私立同志社中学校・高等学校	35 名	中学生 高校生	多数	
	3) 福島県南相馬市復興支援事業 ①福島県南相馬市の小中学生約 20 名を東京に招き、東京都内を探索するワークショップや、社会科見学、将来の夢を大学生と一緒に考え、発表する。 ②福島県南相馬市の小中学生向けの学習支援教室を開催する。	12 月 8 ~ 9 月	東京都内 福島県南相馬市	50 名 15 名	南相馬市の小中学生 南相馬市の小中学生	小中学生 25 名 小中学生 1,000 名	

	<p>4) オンライン学習支援サービス</p> <p>①新型コロナウイルス流行に伴い、休校状態にある子どもたちを対象に、オンラインでの学習支援教室を実施する。</p> <p>②新型コロナウイルス流行に伴い、オープンキャンパスなどが実施されないことを受け、高校生が大学の様子を知ることができるオンラインオープンキャンパスを実施する。</p>	<p>随時</p> <p>随時</p>	<p>オンライン</p> <p>オンライン</p>	<p>40名</p> <p>40名</p>	<p>小学生、中学生</p> <p>高校生</p>	<p>多数</p> <p>多数</p>	
教育活動を担う人材を育成・支援する事業。	<p>1) 東京大学五月祭教育フォーラム</p> <p>昨年度に引き続き教員の働き方に対する世論の高まりを受け、近年成果を挙げている学校の事例などについて、専門家を呼び、学生、来場者と共に議論を行う。</p>	5月	東京大学本郷キャンパス	15名	学生・教育関係者	950名	1,300
	<p>2) EDUPEDIA SCHOOL</p> <p>当法人の運営する教育実践のWebプラットフォーム「EDUPEDIA」に掲載されている実践を、教員をはじめとしたサイト利用者に直接提供するための場として、運営しているセミナー。講演やワークショップ、参加者同士の交流を通じて、教育情報や実践のノウハウの共有を行う。</p>	随時	東京都内	10名	現役教員を中心とした教育関係者	30名	
	<p>3) 被災地におけるプロジェクト・ベースド・ラーニング</p> <p>福島県南相馬市・岩手県大槌町が震災以降抱えている課題に対して主体的に解決に取り組む。それを通して防災意識や災害に対する正しい知見を身につける。</p>	7月 9月 3月	福島県南相馬市 岩手県大槌町	10名	学生	30名	
	<p>4) 防災教育実践交流会</p> <p>近年災害が多発し、痛ましい事故が学校でも起こっている。そうしたことを繰り返さないために教員志望が多く集うNPOとして、防災教育実践について議論・交流、実践を行っていくネットワークを形成する。</p>	随時	京都府内 大阪府内	10名	現役教員・学生	多数	
	<p>5) 関西教育フォーラム</p> <p>最新の教育に関わる事柄をテーマとして、3人の登壇者による講演や学生を交えたパネルディスカッションを行う。</p>	11月	京都大学吉田キャンパス	10名	教育関係者	700名	
教育に資する調査・研究事業	<p>1) 被災地・防災に関する調査研究</p> <p>関西 ROJE</p> <p>被災地の現状や防災に関する最新情報を調査すると共に、積極的に学会等で報告する。</p>	随時	関西事務局	5名	学術関係者	多数	300
	<p>2) 活動に関する調査研究</p> <p>関西 ROJE</p> <p>当連盟の活動に寄与するための調査研究活動を随時行うと共に、活動報告を学会等で行う。</p>	随時	関西事務局	5名	学術関係者	多数	

教育に資する情報を提供・普及する事業	1) 教育実践サイトの管理運営 全国の教育実践（授業実践・学級運営など）を共有サイトEDUPEDIAに集約・分類した。現在、スマートフォン対応なども含めて更新を継続している。	随時	全国	30名	教員・教育関係者	多数	1,500
この法人の活動および関連する情報を広報する事業	1) 連盟ホームページの管理運営	随時	関東事務局	5名	教育に関心のある人々	多数	上記に含む

(2) その他の事業

(事業費の総費用【0】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
出版事業	未定（実施に向けて協議中）				

○活動体制見取り図（昨年度パンフレットから引用、一部事業は掲載なし）

教育で未来をつくる
私たちの活動を紹介します



「フォーラム」
多様な視点から
これからの教育を考え、議論する

東京大学と京都大学の学業部において、各教育関連分野の専門家を招き「五月号教育フォーラム」および「関西教育フォーラム」を開催しています。このフォーラムを通じて学生や教員、さらにその他の幅広い方々と共に教育問題について理解を深め、教育現場に反映します。



「キャリア教育」

つぼみプロジェクト

被災地から自分の手で未来を切り拓く人材を輩出する
つぼみプロジェクトでは、福島県南相馬市の小・中学生を対象にしたキャリア教育プログラムを提供しています。また大学生向けの被災地フィールドワークなども行い、学生自身の学びを深めることも目指しています。



「授業実践」
生徒と学び合う
パートナーになることで学びを拓く
「中高まなびプロジェクト」が目指すのは、学校と社会をより密に繋げ学びの領域・方法・目的を広げること。生徒とともに学び合い成長するパートナーとして、中学校や高校でアクティブラーニングや「自己探求」の授業実践を行います。

教員のための教育情報の提供を通じて子どもの学びを支援する
月額11万人が利用するwebメディアEDUPEDIAを通じ全国各地の教員、研究者、出版社、民間の教育関係者などのすばらしい知識や情報を共有し子どもの未来に関わる先生方を支援します。東京・関西・広島・九州など各地にいる大学生や社会人が現場へ取材に赴き、記事を作成することにより日本中の教育実践を集めたプラットフォームを目指します。



「メディア」



「ボランティア」

子どもの「できる」を増やし成長を支援する

子どもたちの成長は、明日の小さな成功体験の積み重ね。必要なのは、一人ひとりと向き合い成長を後押しできる存在です。小・中学校の授業や放課後学習の場に継続的に関わることで子どもの「できる」を増やしていきます。



「教育対話」



参加者の明日の行動を“変える”
教育の未来を“変える”

イベント企画VARYは教育をテーマにしたイベントを企画・開催しています。イベントの参加者は、高校生から社会人までさまざま。教育に対する多様な価値観に触れることで自らの経験を一つ超えて教育問題を多角的な視点からみつめる機会を提供することを目指しています。

